



## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-2-3			事業名	家庭用廃食油資源化促進事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
家庭用廃食油回収拠点数	43か所	71か所	192か所	230か所	240か所	200か所	
家庭用廃食油回収量	1,200 /月	2,500 /月	3,500 /月	4,500 /月	4,700 /月	7,000 /月	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 市民から廃食油を回収する。</p> <p>企業等との連携・協働 【資金協力】廃食油の回収、運搬及びBDFの資源化は廃食油資源化企業によって行われている。 【人材協力】上記のとおり 【情報協力】回収拠点の拡大の呼び掛けを廃食油資源化企業が行っている。 【その他】該当なし</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 回収拠点を設置する企業に対し、回収ボックスの設置に対する支援を行っている。また、市民に対し、チラシ、ホームページ等にて回収拠点の所在地等を紹介している。</p>							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
回収拠点を192か所に拡大したことにより、平成20年度には廃食油を41,312回収することができた。また、のぼりの貸出やチラシの配布、ホームページへの掲載により、事業内容、回収拠点等を市民に広くPRした。				廃食油の回収にかかる市民の利便性を高め、廃食油の回収量を増やすために、回収拠点の拡大及び、市民へのPRの強化が必要である。			
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>1、回収拠点の拡大 平成22年度までに、スーパーマーケットやレストラン、公共施設等240か所に拡大する。</p> <p>2、BDFの需要拡大 BDFの利用促進を図るため、ごみ収集車にBDFを使用する。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-2-3			事業名	家庭用廃食油資源化促進事業						
事業費の推移												
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計		
計画	事業費	国・道支出金		3,600		3,600		3,600		10,800		
		市の債								0		
		その他の								0		
		一般財源		0		3,600		3,600		3,600		10,800
予算	事業費	国・道支出金		0		2,800		1,200		-	4,000	
		市の債		0		0		0		0		0
		その他の		0		0		0		0		0
		一般財源		0		2,800		1,200				4,000
実績	事業費	国・道支出金		0		992		-		-	992	
		市の債		0		0						0
		その他の		0		0						0
		一般財源		0		992						992
事業費の進捗率			(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)							20.3%		
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)												
(全体)												
[19年度]												
[20年度] 回収拠点設置者支援件数について見込み数に倒達しなかったため												
[21年度]												